



22世紀医療センター

22nd Century Medical and Research Center

講座名 生物統計情報学講座

英文講座名 Department of Biostatistics & Bioinformatics

演題名：生物統計家育成のための卒業教育まで含めた一貫した教育プログラム

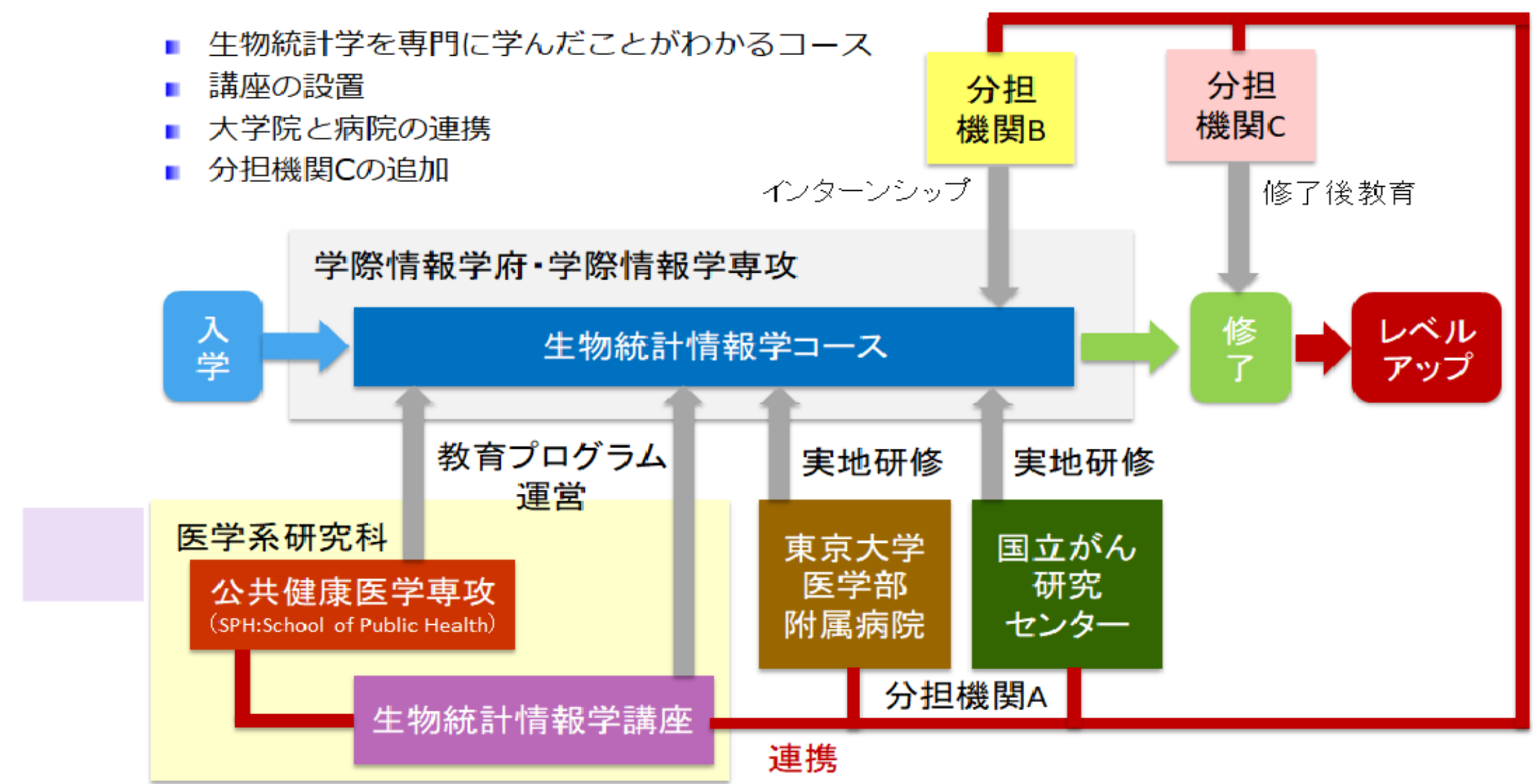
演者名：麻生将太郎、野村尚吾、小川光紀、上村鋼平、小出大介、大庭幸治、松山裕

コース新設の背景

2012年	2014年	2016年	2017年
臨床研究事業* デイバノン タシグナ CASE-J ・デイオパンの臨床研究にて、データ操作等が発覚 ・タシグナの医師主導臨床試験において、患者データが企業に渡っていた ・プロブレスの比較試験で、心血管系疾患発生に統計的有意差がないのに誤解を招く広告が存在	健康・医療戦略、各種提言 閣議決定 文部科学省取組み 提言	AMED 生物統計家育成支援事業 人材育成プロジェクト会議決定 事業内容の決定・公表 2拠点の選定 ・文部科学省・厚生労働省・AMED・日本製薬工業協会・関係学会・専門家による事業内容の検討 ・医療機関でのOJT研修の義務付け ・年間10名以上の修士修了生を輩出することを要件 ・東京大学大学院・東京大学医学部附属病院・国立がん研究センター ・京都大学大学院・京都大学医学部附属病院・国立循環器病研究センター	東京大学に生物統計情報学講座設置 講座設置 教育プログラムの開発 学府との連携 ・特任教授1名、特任准教授1名、特任講師3名、特任助教1名の体制で医学系研究科に開設 ・特任講師2名は、情報学環所属 ・座学・OJT研修のカリキュラムの開発 ・全29科目（44単位）の開講に向けた準備 ・学際情報学府での『生物統計情報学コース』の設置に向けた調整

充実した教育体制

第1期(2016年10月-2021年3月)→第2期(2021年4月-2026年3月)へ拡充



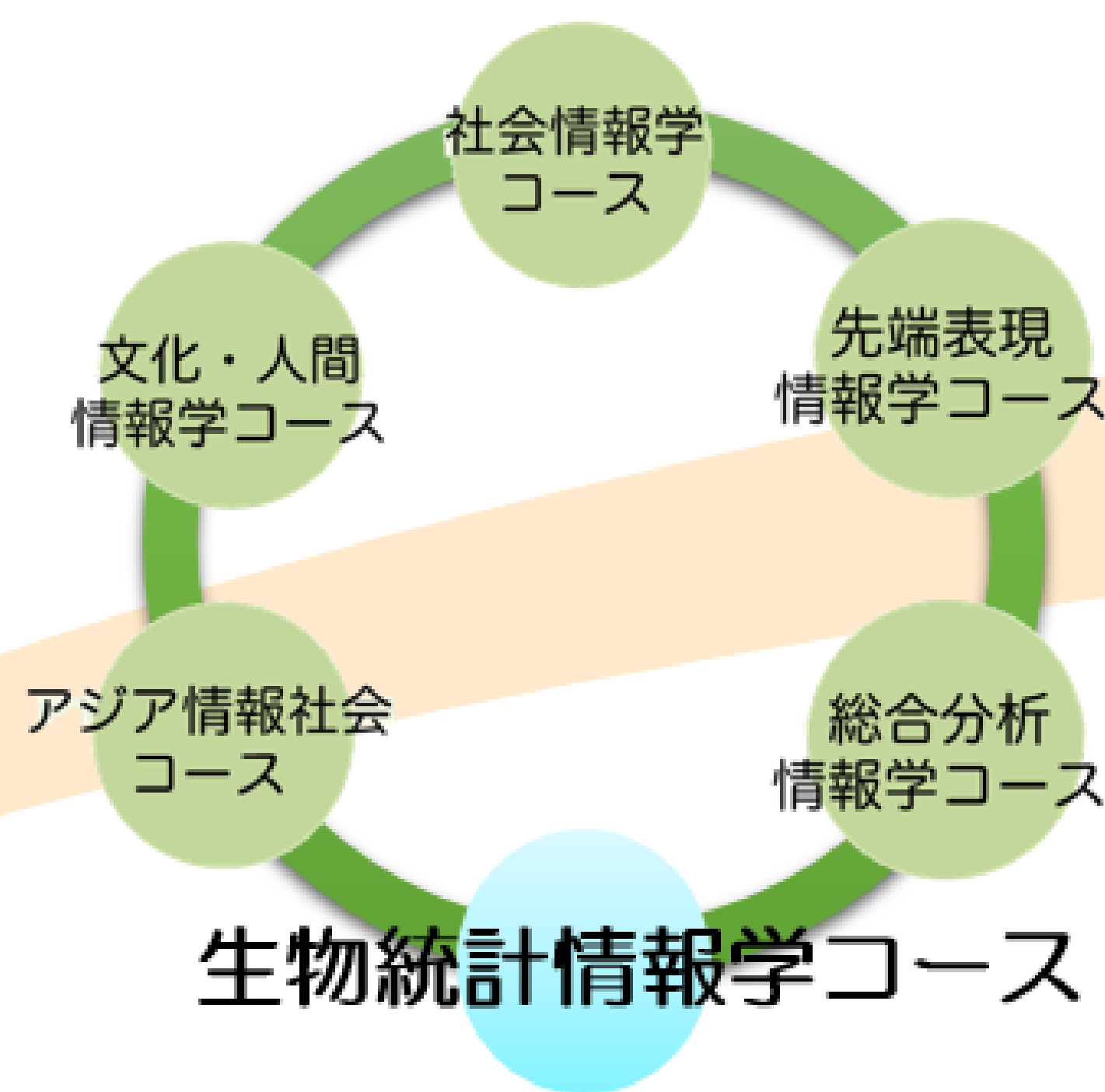
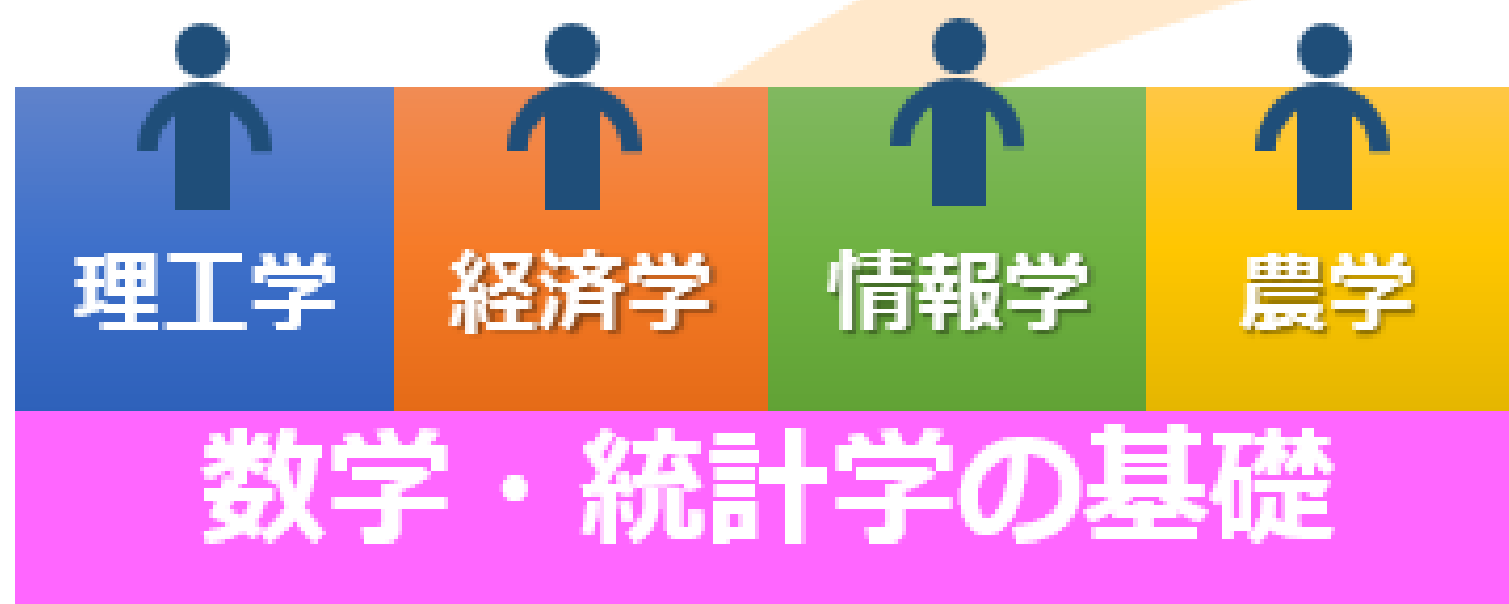
教育目的とアドミッション・ポリシー

生物統計家に求められる**統計的情報処理能力**と**他分野との協調性**を養う教育プログラム
 → 高度な医療系情報・データ処理技術と幅広い分野の学識を身につけた実務家を育成

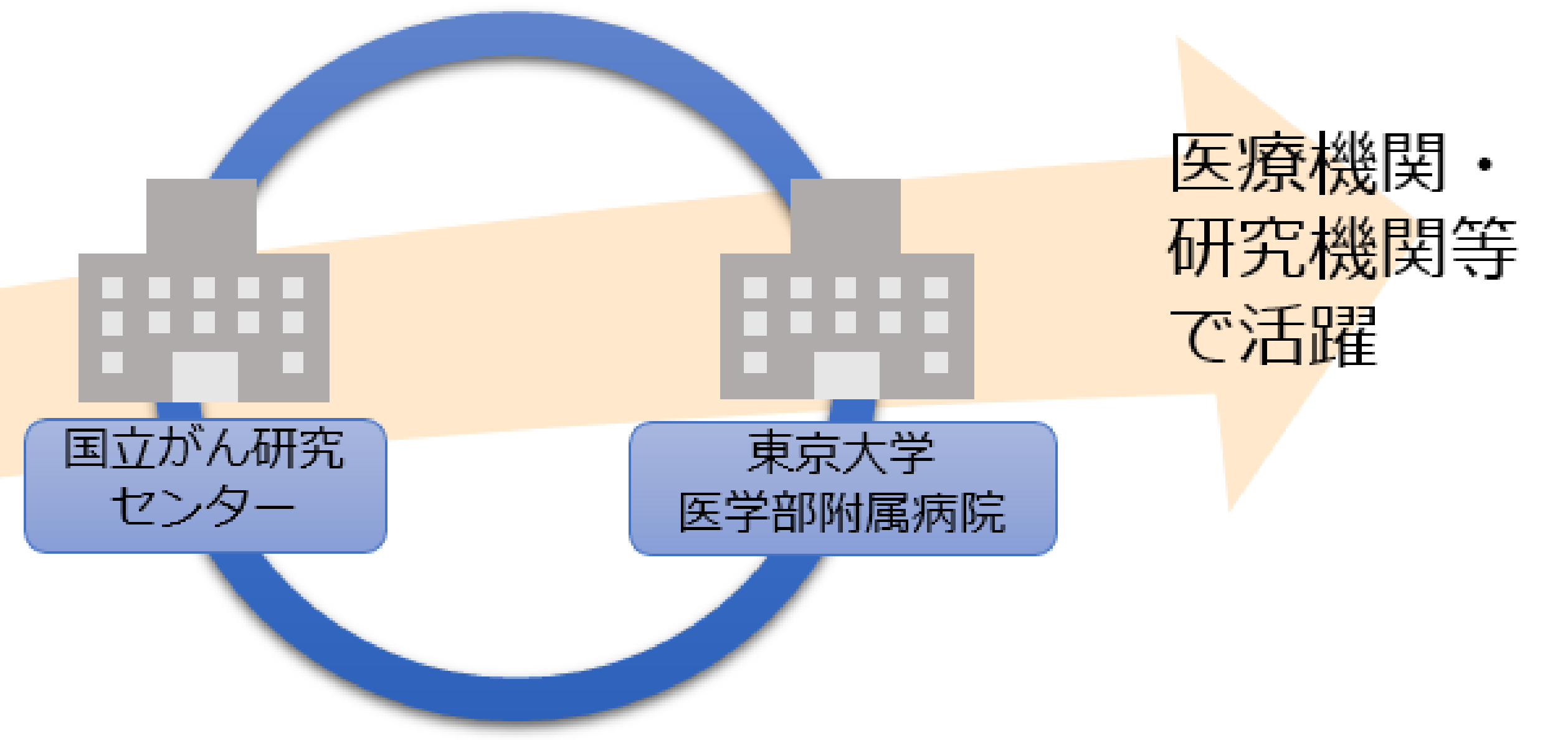
学際情報学府の情報学教育体制を基礎として
統計的情報処理能力の研鑽を積む

医療機関でのOJTをととして医療系分野の基礎
 素養を高め、**他分野の専門家との協調性**を養う

大学院教育は、**学部レベルの基礎数学・統計学**を前提としているため、これらの学部教育を受けた学生を受入れ



入試ではアカデミック臨床研究機関からの特別選考枠(社会人枠)も開始



経験豊富な講師陣による多彩なカリキュラム



生物統計家としての長期的キャリアパス

